

## 学校教育目標

- 〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成
- 〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
- 〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成

## 『令和5年度は・・・』

校長 渡辺 敬方

12月になり、もう1年が終わりになるのかと、はやい時間の流れに驚いています。寒さも本格化してきました。世の中では、まだまだコロナの感染やインフルエンザが心配されています。今後も手洗いうがいを基本とした感染予防に取り組んでいかなければなりません。

さて、この時期になりますと例年「今年の漢字」が発表されます。昨年は「戦」という漢字で、「戦い」は、寂しく、悲しいと感じました。今年は明るいものであってほしいと考えていました。今年も12月12日に発表されました。今年は予想するのはとても難しかったですが例年になく暑かったので「暑」か関西で盛り上がった「虎」かと思いました。

2023年の漢字は「税」でした。理由として、今年を振り返ると、法人税や所得税など増税にまつわる議論が活発に行われ、岸田文雄首相を揶揄（やゆ）する「増税メガネ」という言葉も注目されました。その他でも一年を通じて「税」に関するさまざまな話題が続いたからだそうです。今年も明るい話題が少なかったようで残念です。「税」は「今年の漢字」が始まって29回目で2度選ばれました。前回は2014年で、消費税率が17年ぶりに引き上げられ「税」について考えさせられた年だったそうです。

小中高生が選ぶ今年の漢字（ニフティキッズ調べ 約1200人）というのがあります。そこでは、昨年と同じ「楽」が1位でした。1年間楽しいことばかりだった、新型コロナウイルスが収束してきていろいろな場所に行けるようになったから、学校が楽しかったから、楽しく頑張って過ごしたからということで選んだようです。この記事で救われたような感じがしました。

来年の干支は、「甲辰（きのえ・たつ）」です。干支にはそれぞれ意味があり、古来より効率的な農業の指針や災害予測、人生に迷ったときの羅針盤としてなど、物質・精神問わずさまざまな用途で使われてきました。それによると「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になるようです。春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になりそうなのです。来年は明るい年になりそうです。

児童生徒の皆さんには、冬休み中は、健康管理に心がけ、しっかり食べ、しっかり寝て、適度な運動に心がけ生活して下さい。規則正しい生活が体を丈夫にしてくれるはずですよ。

児童生徒の皆さん、3学期にまた元気な姿を見せてほしいと思います。



## いのちの学習(小)を行いました

12月7日（木）に小学校4年生を対象に「いのちの学習」を行いました。伊達赤十字病院の職員の方をお招きし、ウイルスに関する学習や手洗い方法の実技等、病気の予防に関して指導していただきました。児童にとって有意義な授業となりました。



# 『星の丘広場』開催

12月9日（金）に、小学校で「星の丘広場」を開催しました。いろいろな学年で編成したグループで「どこに入れる！？玉入れチャレンジ！！」「好きなモノにあてよう！」「缶つみどきどきMert Ball」「アニメダーツ」の4つのコーナーを行いました。

子どもたちは、限られた時間の中で会場の飾り付けや準備を頑張っていました。サポートチームの方やバウムハウス職員、中学校の先生や生徒の皆さんに準備した催しを楽しんでもらうために、呼び込みをしたり、チケットを切ったり、スタッフとして一生懸命働いていました。

子どもたちにとって、非常に有意義な活動となりました。来校された方々へお礼を申し上げます。



# 1月行事予定

- 1日（月） 元日
- 4日（水） 学校閉庁日
- 11日（木） 専門家チーム会議
- 12日（金） 学校評価委員会  
定時退勤日
- 16日（火） 小中部会  
教護会
- 17日（水） 3学期始業式
- 18日（木） 放課後学習会（中3）  
定例校長会
- 19日（木） 定期テスト（中3）  
学校運営協議会
- 22日（月） 小中部会  
学校評価委員会
- 23日（火） 実務者会議
- 24日（水） 二計測（中）  
陶芸教室（中）
- 25日（木） 二計測（小）  
校務部会年度末反省  
定例教頭会  
BASE会議
- 26日（金） 冬の野外活動（小）  
校務部会年度末反省  
高等養護学校選考検査日  
定時退勤日
- 29日（月） 小中部会
- 31日（水） 児童生徒会

# 救命救急講習会

12月1日（金）に伊達消防署より救急隊員の方を講師としてお招きして、エピペンの使用方法とアナフィラキシーショック時の対応をメインとしてAED（自動体外式除細動器）についての講習を行いました。

講習の中で、体育館で児童がアナフィラキシーショックをおこしたという想定で、救命措置と救急車の要請等、実践的な実技を行いました。実技終了後、講師の方から、指示担当、救命担当、連絡担当、記録担当など役割分担をする、対応の記録をとる。エピペンやAEDの保管場所を確認するなどのアドバイスがありました。

命に係わる非常に重要な講習で、全教職員が組織的に対応することの大切さを学びました。

